

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17044	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	課名	長寿健康課 健康づくりG
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	会計	01:一般会計
	基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実	款	04:衛生費
	施策の方向	03:地域医療提供体制の整備	科目	01:保健衛生費
戦略プロジェクト	01:「健都さふり」プロジェクト	目	01:保健衛生総務費	
事業予定期間	H 23 ~ H - 年度 主な根拠法令要綱等 寄附講座の設置に関する協定書			

② 目的・概要	対象	三重大学
	目的	三重大学に対し寄附を行うことで、三重大学との連携を更に強化し、安定的に市立医療センターの医師を確保することで、地域の医療体制を強化する。
概要	三重大学が、市立医療センターにおいて総合診療・家庭医療・整形外科の診療体制を整えながら、実際の診療を通して地域医療を担う医師(総合医・家庭医)を養成するための教育や亀山市をフィールドとした地域医療に関する研究等を実施することに対し、寄附を行うものである。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○講座設置協定書に基づく三重大学への寄附 ○寄附講座設置の継続に向けた延長協定の再締結	○講座設置協定書に基づく三重大学への寄附	○講座設置協定書に基づく三重大学への寄附	
	年度実績	○講座設置協定書に基づく三重大学への寄附 講座設置協定書に基づき、寄附を行った。 ○寄附講座設置の継続に向けた延長協定の再締結 平成29年5月 寄附講座の設置に関する協定書の再締結。医療カフェ開催(講座の総合医、研修医、医学生) 4回			
事業費	計画額	事業費	31,200千円	31,200千円	31,200千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	31,200千円	31,200千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	31,200千円			
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	31,200千円	31,200千円	0千円	
	総人件費 ②	2,611千円			
	一般職員	2,611千円			
	所要人員	0.34			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		33,811千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称	三重大学への寄附	活動 計画値 実績値 単位	寄附実施	寄附実施	寄附実施
			亀山地域医療学講座の設置・運営経費として三重大学へ寄附		実施		
		名称	講座での研究・教育活動の実施		活動実施	活動実施	活動実施
	②		市における包括的医療の実践による地域医療システム構築に向けた研究活動及び医師育成のための教育活動の実施	活動 計画値 実績値 単位	実施		
	③	名称		計画値 実績値 単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 市民の健康を守り、健康寿命を延ばす必要があることから、亀山地域医療学講座の現状や内容を伝えるため、医療カフェを継続していく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 医療カフェを実施する前に、講座に派遣された医師と打ち合わせを行った。また、医療カフェ終了後に、アンケートをとり、今後聞きたい内容を把握し、次年度以降に活用することとした。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 平成29年5月 寄附講座の設置に関する協定書の再締結を行い、これに基づいて三重大学へ寄附を行うとともに、亀山地域医療学講座に寄附を行うことにより、派遣された医師が、研究を目的として実際に医療センターで診療を行いながら、新たな医師の育成のため、研修医や医学生実習生を受け入れ、教育活動を行った。	A  計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 診療体制の充実が図られたことにより、前年度と比べて、医療センターの入院患者数、病床利用率とも上昇した。 入院患者数(H28年度 20,194人 H29年度 23,586人) 病床利用率(H28年度 55.3% H29年度 64.6%) また、講座の医師や研修医などが地域に出向いて、講話と対話を行う、「医療カフェ」(延べ回数4回 延べ人数82人)を実施するなど、三重大学に対し寄附を行うことで、三重大学との連携を更に強化し、安定的に市立医療センターの医師を確保し、地域の医療体制の強化が図られた。	A  十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 亀山地域医療学講座の現状や内容を伝え、医師確保を継続し、市民の健康を守り、健康寿命を延ばすことが必要である。	今後の方向性  <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 講座の医師等と連携し医療カフェなど市独自の魅力的な取組みを実施する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 医師確保を図ることで、市民の健康が守られる効果が期待できる。	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	健康福祉部 長寿健康課 健康づくりグループリーダー 駒谷 みどり
【最終評価者】	健康福祉部 長寿健康課長 小森 達也